

# 「青少年健全育成基金」の見直し素案について

資料1-1

現行（令和4年度）  
基金名：「青少年健全育成基金」

**歳入**

基金運用収入	2,983千円
ふるさと納税	3,420千円
基金取り崩し	2,527千円

基金残高 約4億4千万円

**歳出**

＜特別会計＞  
事業費 5,510千円  
※他に基金積立金3,420千円あり

青少年4団体への補助金等の助成 事業費5,510千円  
＜ボーイスカウト、ガールスカウト、スポーツ少年団、こども会＞

- ・青少年団体活動事業費（スポーツ指導者謝礼金、指導者保険料）2,266千円
- ・スポーツ少年団等補助金（スポーツ少年団補助金、国際大会参加補助金、ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団他都市交歓事業費補助金）2,157千円
- ・子ども会連絡協議会等補助金（こども会連絡協議会補助金、子ども会他都市交歓事業費補助金）1,087千円

**【課題点】**

- ・青少年4団体以外の助成で、他の青少年団体・グループ、ユース世代への助成がなく、ユースワークの推進として十分に機能していない。
- ・ヤングケアラーやこども食堂への支援などの今日的な課題や先駆的な取組みに対する助成がない。
- ・支援にあたって、当事者である子どもやユース世代の声を聴けていない。

見直し後（令和5年度から）  
基金名：「（仮称）子ども・若者応援基金」

**歳入**

基金運用収入	700千円
ふるさと納税	3,400千円
基金取崩	8,400千円

約4千万円を5年で取崩し

**歳出**

事業費 約2.3倍！  
一般会計化 事業費12,500千円

新規・拡充 子ども・若者等への活動助成（民間の活動を助成）

- ・ユース種別支援 若者主体で取り組む公益的な活動を助成
- ・子ども・若者育成支援 子ども・若者育成支援に取り組む団体の活動を助成
- ・パイロット事業 今日的な課題に関して先駆的・試行的取組を行う団体の活動を助成

事業費約10,500千円  
（従来の事業費5,510千円+新規拡充5,000千円）

新規 市の事業 子ども・若者に係る今日的な課題への対応や先駆的・試行的な取組 2,000千円

**【課題点を踏まえた見直しの方向性】**

- ・青少年4団体のほか、ユースワークの更なる推進のため、**新たな青少年団体、ユース世代への助成**を行い、ユースワークを推進する。
- ・**今日的な課題**に関して**先駆的・試行的な取組への支援**を積極的に行う。
- ・基金活用事業の選定にあたっては、当事者である**若者の意見を聴くものとする**。
- ・上記助成を行うことを明確にし、ふるさと納税を活用した**歳入強化も図る**とともに、**基金名称も「（仮称）子ども・若者応援基金」に変更**する。
- ・基金活用事業がこれまでのように民間団体への補助等に限定されず、市の事業も対象としたことから、あえて特別会計で経理する必要性が薄れたため、**特別会計を廃止**する。

令和4年10月13日現在